

山内強氏と

その所蔵資料

今春、町史編さん室では故山内強氏が所蔵されていた資料の寄贈をお受けしました。寄贈してくださったのは、山内強氏のご子息である山内宏裕氏です。

山内強氏は若宮地区大村の出身です。浜通りの相馬実業学校で教頭を勤めた後、会津に戻られました。戦後は沖に住み、近隣地域の小・中学校校長を歴任されました。昭和42年に退職された後は郷土史研究に専念し、会津考古学研究会会長、会津史談会役員、会津坂下町史編さん専門委員など、さまざまな団体の中心となって活躍されました。



山内強氏
(昭和43年4月撮影)

川西小学校長在任中、福島県史編さんのキリシタン調査に関わったことをきっかけに始まったキリシタン研究は、以後山内氏のライフワークとなり、昭和59年には研究の集大成として『会津のキリシタン』を刊行されました。

今回寄贈いただいた資料の中には、本格的な調査開始から書籍刊行までのおおよそ15年間に、山内氏が調査・研究された資料の大部分が含まれています。

昭和45年に会津若松市で開催された「会津キリシタンの歩み展」出展資料とその調査資料をはじめ、会津各地のキリシタン遺物の写真、江戸時代の「転切支丹類族帳（ころびきりしたんるいぞくちょう）」の複製、山内氏による調査報告書など、たいへんな数におよびます。

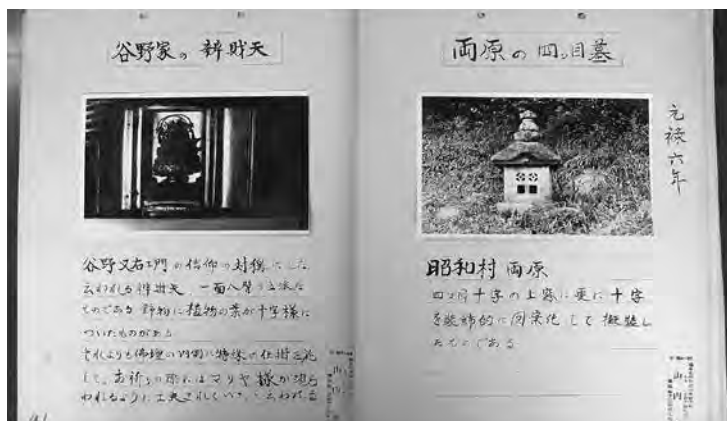
晩年、自身もカトリック信者となられた氏は、著書の序に次のような言葉を記されています。
「・・私は会津盆地の中央である会津坂下町に、カトリック教会堂と教会墓地を建設することを念願しております。これは私の夢です。」



山内強著『会津のキリシタン』昭和59年2月発行

（中略）皆様方の御好意によって御購入いただきました冊子代は、全額カトリック教会堂並びに教会墓地建設資金に使用させていただきます。その一冊一冊が礎石の一つ一つと積まれて行くことに、限り無い夢を抱いております。」

昭和58年春から病床にあった氏は、病を押して原稿を完成させましたが、残念なことに印刷所より「製本完成」の連絡があったその日、病院で静かに息をひきとりま



昭和59年「会津キリシタンの歩み展」出展資料（一部）

した。

所蔵資料のなかには、キリシタン関係資料以外にも、昭和年代の会津坂下町史編さんの際に活用したと思われる町内外の歴史資料の複製がたくさんありました。

編さん室では、寄贈いただいたこれらの貴重な資料を、今後大切に保存していきたいと思っています。

問い合わせ先 町史編さん室

TEL 83-2234(代)

ばんげの味 が育てる その44 おいしい楽しい健やかライフ



～ばんげ保育所の0歳児から始める一人ひとりを大切にしたい食育～

ばんげ保育所では、子ども一人ひとりが丁寧に大切にされ、人間の基礎となる生活習慣（食事・排泄・睡眠）を身につけることができるように全職員が共通理解をし、保護者と共に情報交換をする中で子どもの24時間を把握して保育をすすめています。

特に0歳児クラスの子どもの場合は、一人ひとり違います。月齢や体調などにより離乳食の進み方もそれぞれです。保護者、保育士、栄養士、調理師、看護師が連携し、一人ひとりに合った食事提供をしています。

過日行われました、栄養士による食育講演会「よく噛んで楽しく食べよう!」、給食試食会では多くの皆様にご参加いただきました。

8か月頃～



もぐもぐごっくん!
おいしいね～。

11か月頃～



「じぶんでたべたい!」という意欲がみられたら、一口サイズのおにぎりを食べています。



かみかみしょうずだね!

～てづかみたべ～ おいしいよ。



保護者の方からの感想・・・ 家ではいかに汚さずに食べられるかを考えながら食事介助していたが、保育所のご飯の形態をみて、「今の時期に手づかみ食べ」を考えられた食事だったので、自分の思いを改める機会となった。これから、スプーン、コップ、はし・・・とつながるように食事を考えていきたい。／実際にどんな物を、どれ位食べているのか知ることができて良い機会だった。／バランスの良い食事がとれているので、とても安心した。／我が家でも味噌汁は具たくさんにして、ごぼうスティックも入れて食べることにした。早速、スルメイカをおしゃぶり代わりにカミカミさせてみたらとても喜んでくわえていた。／目でも楽しめてとても美味しかった。／細部まで行き届いた管理の中での保育に感心した。／食の大切さを勉強することができ、とても参考になった。

これからも、「子ども一人ひとりに合わせた丁寧な対応」「保護者と共に情報交換」を毎日積み重ねることで、偏食をなくし、アレルギーを改善し、共に食べることの楽しさや社会性を身につけ、保育所から幼稚園へ、そして小学校へと「生きる力」につながるお手伝いを全職員で取り組んでまいります。

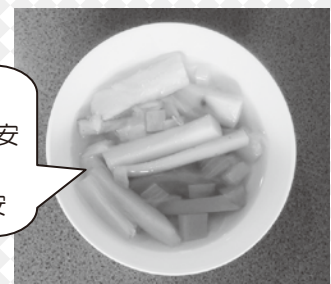
☆☆8月19日 食育・家庭料理の日☆☆

【ばんげ保育所のおすすめ!! 具たくさんスープ】

- *だし汁
 - ・昆布を水から煮る。
 - ・沸騰寸前に昆布を取り出す。
 - ・沸騰したら鰹節を加え、弱火で1～2分煮たら火を止め、こして使用する。

- *だし汁に次の野菜を入れる。
- 人参、大根、じゃがいも、さつまいも、ごぼう等5cm位の長さの棒状にカットする。
- 玉ねぎ、かぼちゃ、キャベツ等8mm角位にカットする。

9～11か月頃
バナナの固さを目安
7～8か月頃
豆腐の固さを目安



野菜の甘みが美味しいですよ!



中央公民館 図書室だより Vol.38

中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日:毎月第2火曜日)



夏休みは読書をしよう！心の成長は読書から育めます！

暑い夏は、家でじっくり本を読むのによいチャンスです。いろいろな本を読んで、心に残る大切な1冊と出逢いましょう。

☆「第59回青少年読書感想文全国コンクール」 おすすめの図書 ☆

小学校 低学年	わたしのいちばんあのこの1ばん
	アリソン・ウォルチ／作 ポプラ社
「1ばん」を大切にするバイオレット。「いちばん」を大切にするロージー。「1ばん」だけがいいことなのかな？ロージーは、その答えを見つけていきます。	

小学校 中学年	くりいむパン
	濱野京子／作 くもん出版
5世代9人家族と下宿人がいる香里の家に、親戚の末果という同い年の女の子が住むことになった。みんなに可愛いがられる末果に、やきもちをやく香里でしたが…。	

小学校 高学年	有松の庄九郎
	中川なをみ／作 新日本出版社
父の転勤で海外に行くことになり、浴衣を直してもらおうとおばあちゃんの家へ行ったカオルは、その浴衣の生地が百年以上も前のものと教えられ、有松絞りの話を聞く	

中学生	フェリックスとゼルダ
	モーリス・グライツマン／著 あすなろ書房
ホロコーストの中、何も知らないフェリックスは、父母に会いに孤児院を抜け出す。父母を探す旅の途中で出会ったゼルダとともに、彼はナチスに捕まってしまう。	

☆ 新着本・ピックアップ ☆

「夢を売る男」 百田尚樹／著 太田出版

「知っているか？現代では夢を見るには金がいるんだ。」
本の出版を夢見るとどこか自意識過剰な人々から、丸栄社独自の出版形態でお金を巻き上げる敏腕編集長・牛河原勘治。出版業界のあれこれを、面白おかしく描くブラックコメディ《一般向け》

本をたくさん
読もう！！



まちの話題



社会を明るくする運動の出発式がありました

7月1日、庁舎前で「社会を明るくする運動」の出発式が開催されました。委員長の齋藤町長が「犯罪や非行の防止と更生についての地域社会の理解と協力を広げましょう」と挨拶をしました。

保護司や更生保護女性会の会員ら35人が参加し、JR只見線の駅やバス停などで、非行防止を呼び掛けるポケットティッシュを登校中の子どもたちに手渡しました。



鶴沼緑地公園で植栽作業

7月14日、鶴沼緑地公園内花壇において植栽作業を実施しました。早朝より各種団体約200名の参加があり、マリーゴールドなど5種類、約4,000本の花苗が植栽されました。これから美しい花々を見ることができますので、ぜひご覧ください。



スターリイマン紙芝居プロジェクト

東日本大震災で被災した子ども達に紙芝居ライブと共に紙芝居を贈る活動をしている「はせがわファミリー」が、6月25日保育所と南幼稚園で紙芝居を見せてくれました。

夢を叶える風船を届ける旅の話しに、未来の希望を持った子どもたちは目を輝かせていました。はせがわファミリーさんから、紙芝居と自分の夢を描けばきっと夢が叶うクレヨン「キットパス」をいただきました。さあ！夢を描こう！



絵の具で遊ぼう！



7月23日（火）、五浪美術記念館事業「絵の具で遊ぼう」が開催され、町内の未就学児19名が参加しました。

町内在住の洋画家奥野寿賀子氏を講師に迎え、町民体育館で大きな模造紙や白い段ボールにクレヨンや絵の具を使って楽しく遊びました。

会津坂下駅前通りの花壇がきれいに彩られました



6月17日県道会津坂下停車場線の東側植栽スペースに『黄色とオレンジのマリーゴールド』850本が植栽されました。

この事業は、『うつくしまの道・サポート制度に関する合意書』により、坂下ステーション通りを守ろう会（代表：藤田健也さん）、会津若松建設事務所、会津坂下町が協定を締結し実施したものです。

当日は、守ろう会のメンバーである会津農林高校の生徒・新栄町自治会の皆さん約40名が参加しました。

除草作業など花壇の管理も町内会の方々が中心となり行っています。



まちの話題



坂下中女子バスケスポ少 県総体出場へ！



6月25日、会津若松市で6月15日・16日の両日開かれた全会津総合体育大会バスケットボール競技スポーツ少年団の部女子で優勝した坂下中学バスケットボールスポ少「3sevens」のメンバーが訪れました。写真左から成田瑞穂さん、蓮沼萌生さん、仙波佑理さん、飯塚真菜さん、遠藤唯那さん、中島優花さんです。

大会では、全会津中学校体育大会で敗れた強豪校などに雪辱を果たして初優勝し、県大会（県総体）への出場権を勝ち取りました。

「3sevens」のメンバーは「初出場ですが、他のチームに負けられないようにがんばります！諦めない気持ちと声を出してベストを尽くします」と抱負を語りました。

わんぱく相撲全国大会に 小学生2人が出場！



6月28日、写真左から坂下東小5年の江花拓くん、坂下南小4年の田崎幸我くんが、わんぱく相撲全国大会への出場報告に町役場を訪れました。

2人は、6月に南相馬市で開かれた県ブロック大会で、江花くんは小学5年の部で優勝、田崎くんは小学4年の部で4位入賞し、全国大会への挑戦権を得ました。

江花くん、田崎くんは「全国大会でも頑張ります」と力強く抱負を語りました。

極真空手小中生4人 全国大会出場！



6月26日、極真空手連盟極真館会津支部坂下道場に通う、右から坂下中学3年の蓮沼萌生さん、坂下中学3年の福地純太くん、坂下南小6年の福地龍司くん、坂下東小6年の五十嵐龍雅くんが訪れ、県大会や全国大会での上位入賞の報告をしました。

全日本青少年空手道選手権大会の中学生女子形の部で蓮沼萌生さんが優勝、中学男子の部では福地純太くんが4位に入賞しました。

また、県極真空手道場選手権大会小学6年生男子上級の部で、福地龍司くんが優勝、五十嵐龍雅くんが3位に入賞しました。上位入賞した4人が町役場を訪問し、齋藤町長、佐藤教育長に表彰状やトロフィーを披露しました。

坂下道場からはさらに全日本青少年空手道選手権大会高校生男子形の部で、会津ザベリオ学園高2年の横沢拓くんが優勝、喜多方高1年横沢翔くんが準優勝しています。

(株)あいづダストセンター

事業系一般廃棄物・粗大ごみ等
廃棄物のことならお気軽にご相談下さい

□本社／会津若松市神指町大字南四合字オノ神 461
□事業所／柳津町大字藤字鶴ヶ峯 4330-23

TEL 0242-36-5351
TEL 0241-42-2890

